

## 第4回「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画」策定作業部会議事録

1 日 時 令和2年6月22日（月）10:00～11:35

2 場 所 福岡市役所北別館5階会議室（Web会議）  
(福岡市中央区天神1丁目10番1号)

### 3 出席者（敬称略）

・作業部会委員

	氏名	役職等
部会長	小出秀雄	西南学院大学 経済学部 教授
	勢一智子	西南学院大学 法学部 教授
	平由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事
	田中綾子	福岡大学 工学部 教授
	中山裕文	九州大学大学院 工学研究院 准教授
	久留百合子	(株) ビスネット代表取締役／消費生活アドバイザー
	松藤康司	福岡大学 名誉教授

### 4 会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 今後のスケジュールについて
- (2) 「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画」テーマ・基本方針及び計画期間について
- (3) 「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画」施策体系について
- (4) 事業者ヒアリングについて

3 閉会

### 5 議事録

議事（1）今後のスケジュールについて

【事務局】

（資料1について説明）

意見なし

議事（2）「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画」テーマ・基本方針及び計画期間について  
【事務局】

（資料2-1, 2-2, 2-3, 2-4について説明）

【部会長】

資料2-1から資料2-4までですけど、何かご意見、ご質問等ございましたらお願ひいたします。

【委員】

まず、テーマのキャッチコピーのところなんですけど、「みんなでつくる 未来へつなぐ循環のまち・ふくおか」というのがテーマですね。あの資料にも出ていますが、今回は5年ぐらいを1つの目標にしようかということになると、「未来」というのはものすごくスパンが長いようなイメージなんで、こちら辺をもう少し変えたほうがいいかなと。

それと、今回これだけ世界中で問題になってるコロナを考えると、「安全」というキーワードが入ったほうがいいかなと。それと落ち込んでるので、「活力」だとかそういうキーワードがあったほうがいいのかなという気がするので、これは皆さんの意見を踏まえてもう少しインパクトのあるような「みんなでつくる何とかと何とかの循環のまち・ふくおか」のような。それから、これからは「安全」というキーワードが必要かなと。

それに現計画だと、「元気が持続する」というキーワードをちょっと入れてましたけど、それに匹敵するようなものが何かあったほうがいいのかなというのが1つです。

それから地域循環共生圏の考え方がありますけれども、全般はこれでいいんですけど、何か九州というんですか、福岡の場合はゲートウェイということでアジアも指向してますよね。

特に今回の問題を含めると、そこは無視できない。今は落ち込んでますけれども、やはり2~3年、5年というスパンで考えると、考えとかないといけないかなと。鹿児島に行くよりも、韓国とか中国に行くほうが近いぐらいの位置に福岡はありますので、これは全国の政令市の中でも非常にユニークです。

それから資料2-2の過去10年の社会情勢の変化について、今現在進行形なんですけれども、自然災害と災害廃棄物の中には、ちょっとスキームが違うんですけれども、感染性というか、コロナの関係というのもまだ収束する話ではありませんので、少し今回の問題も新しい情報を入れておかれたほうがいいのではないかという気がしています。

【部会長】

ありがとうございます。どうですか、答えられる範囲で結構ですけど。まずテーマのキャッチフレーズのところ、「未来」というのがもうちょっと手前のものにしたほうがいいという。事務局、いかがでしょうか。

### 【事務局】

テーマについて、「安全」とか「活力」をキーワードにしてはどうかというお話しだったかと思います。「みんなでつくる 未来へつなぐ 循環のまち・ふくおか」というテーマの案なんですけれども、「みんなでつくる」はその記載のとおりで、「未来へつなぐ」というのもSDGs を踏まえた今の情勢と、福岡市の環境基本計画の分野別計画という位置付けもありまして、福岡市の環境基本計画のテーマが「豊かな自然と歴史に育まれ、未来へ命つなぐまち」ということになってますので、「未来へつなぐ」という言葉を入れております。

安全というキーワードはなかなかテーマに入れづらいところがあって、もともと計画を作る前段の前提条件なのがなというところを少し思ってます。テーマで言うよりは、先程委員も言われましたように、コロナの影響で感染性廃棄物を含めて廃棄物処理に関する課題が少し出てきているところがありますので、そういったところは計画の中の前文などで大きく取り上げていって、今後どういう対策が必要かみたいなところは整理していきたいと思います。

ただ、一方で「活力」の話がちょっと出てたので、活力については少し検討させていただければと思います。

### 【委員】

今の後半の「活力」というところは、下のところで実は「循環のまち・ふくおかとは」というところの最後に「環境・経済・社会を統合的に向上する」というふうなところで出てくるんですけども、やっぱり何か未来へつなぐというすごく長いスパンでの大事なことと同時に、下に書いてあるような「経済」とか「活力」というところをもうちょっとどこかで強調できないかなと思っているんです。

だからテーマの中に入れ込めるかどうかはあるとしても、3番目のところに「環境・経済・社会」と書いてありますけれども、やっぱり何か活力をイメージするようなもっと経済というようなところ、そのところをどこかに盛り込めないかなというふうに思ってます。

だからテーマに盛り込むのか、それともここでの説明のところに盛り込むのかというのは、ちょっと迷ってるところなんんですけど。私も実はこの「未来へつなぐ」というところ、もう少しインパクトがでないかなというふうに思っています。

### 【部会長】

ありがとうございます。テーマに関してほかの委員の方でございましたら、今のうちにお願いいたします。

下の方針といいますか、赤い字でいろいろ直されてますけど、これに關しても。

### 【委員】

今の活力とか経済に関するところは私も同じ意見がありまして、その 1 つで提案なんで

すけど、方針2の「イノベーションとコミュニティーによる共生圏」の中には「資源循環と経済活動の両立」という言葉があるんですけど、この両立という言葉のイメージが例えばマイナスをゼロに戻すみたいなイメージがあるんですけど、プラスを持っていくという言葉のイメージがあまりないんです。

なので両立というよりも、むしろ資源循環を通じた経済活動の活性化とか、プラスをイメージさせるような言葉にしたほうが、より「循環のまち・ふくおか」が抱えているコンセプトに合うんじゃないかなと思うんです。

やはり両立という言葉は、昔あった公害対策基本法の調和条項的なイメージがあるので、この「両立」をもう少し変えてはいかがかと思います。

### 【部会長】

ありがとうございます。もっとポジティブなキーワードにということですね。ほかはいかがですか。

たまたま私、この週末、「超成長都市『福岡』の秘密」というのを読んで、この中にも結構ポジティブなキーワードがいっぱい出てくるので、ちょっとお読みになられて何かいいものがあったら。スタートアップとかイノベーションとかの話が多く、環境とか循環とかの話は全然出てこないんですけど、ちょっと参考にということで。

そしたら先程委員の発言の地域循環共生圏のところで、アジア、ゲートウェイの視点はということですけど、事務局いかがですか、それに関して。

### 【事務局】

地域循環共生圏の中でアジアとの関連を述べるのがいいのかというところは、確かにアジアの関連が非常に今大事になってまして、どうしても資源循環の中でアジアの位置付けというのが、今、中国の古紙とかプラスチックの輸入停止含めて重要ですし、福岡市の場合はどうしても交流人口が多く、特にアジア圏、韓国、中国からの来訪者も非常に多いという中で重要な視点であるのは間違いないので、この中で少し整理をさせていただいて表現させていただければと考えております。

### 【部会長】

あとは災害廃棄物のことですかね。

### 【委員】

ちょっと前に戻ってしまいますけどよろしいですか。最初のテーマの下のところの言葉なんですけれども、柔らかい言葉になってるところと、非常に堅くて市民からするとどういうことを言ってるのか分からぬという感じがするので、少し表現を変えていただくと、活力あるとかそういうところも分かりやすくなってくるんじゃないかなと思います。それが

まず1点です。

災害のところですけれども、先程委員が言われたように、災害にもいろいろあって、今回コロナに対しては、ごみ問題は結構関連しているので、そこは少し災害の中に私は入れていったほうがいいのかなと思ってます。

**【委員】**

SDGs のマークが付いているところなんんですけど、特に何に力を入れるのかというのを大きく示されて、当てはまるものは今みたいに小さく示すみたいな、ちゃんと方向性をそれで示していく、考えているということを出したほうがいいんじゃないかと思いました。

**【部会長】**

ありがとうございます。ここのスペースは限られていますけど、そういう何というか強弱、確かに必要ですね。

**【事務局】**

SDGs の件はまさにごもっともなので、こちらのほうで検討して表現や文言についても修正をさせていただきたいと思います。

あと、災害というかどうかはあるんですけど、コロナ禍におけるごみ処理の継続性について、そういういた視点を基に少し表現を変えていきたいと思っております。

**【部会長】**

ありがとうございます。ほかに何か資料2に関してご意見ございましたら。

**【委員】**

方針1, 2, 3, 4とありますけれども、方針1と方針3がどうも何か分かりにくいんですね。

ちょっと事務局にもお尋ねしたいんですけども、方針1というのは、どちらかというと都市とか循環型社会づくりというようなことを考えた方針というところで、方針3については持続可能な社会実現に向けた施策と書いてありますけれども、どちらも「推進」と書いてあるから、施策でどちらかというと市民にやってほしいとか、それを推進していきますよというような位置付けで方針1と方針3で分かれてるのか。

というのが、下の施策の方向性のところで具体的に書いてあるのを見ていくと、当然オーバーラップするところはあると思うんですけども、そのところがどうも、例えば「事業系古紙の回収促進」というところがあれば、「事業者の環境意識の更なる向上」というところがあったり、言葉の書き方なのかもしれないんですけども、方針1と方針3の分け方というか棲み分けというのが、どうも今ひとつはっきり入ってこないんです。そこを少しご

説明いただけますか。

**【事務局】**

まず方針3のほうですけれども、これはどちらかというと施策の推進ですので、我々のほうが施策を推進していく。多様なライフスタイルに合わせた資源循環の推進にしてもそうですし、「廃棄物処理における温室効果ガス排出量削減の推進」であったり、「大規模災害に対応した災害廃棄物処理体制の構築」というのは、方針3の中ではどちらかというと市の施策の推進というのがメインになってます。

方針1というのは、どちらかというと市民・事業者に対して、取り組みを進めていきたいということをメインに記載しています。ちょっと表現が混同して分かりづらいところがあるかもしれません、考え方としては以上です。

**【委員】**

そしたら例えば「環境関連産業のスタートアップ支援」、これは商業都市とかスタートアップ都市というところにかかるんでしょうけど、私は実は逆をちょっと思ってて、方針1のほうが行政がすることなのかなと、まちづくりとか都市づくりということですることなのかなと思ってたので、ちょっと逆だったんですね。

だからどうも下の施策の方向性のところに並んでるものが、言葉の使い方なのか、それか整理がされてないのかなという感じがしますので、そこをもうちょっと整理していただいたらどうかなと思います。

**【事務局】**

分かりました。検討させていただきたいと思います。

**【部会長】**

ありがとうございます。そのほか。

**【委員】**

今ちょうど話題になっていた、基本方針のところの方針の関係性というのは、やはり重要なことで丁寧に整理をしていただきたいと思います。

私の印象としては、方針1はむしろ福岡の目指す都市像、未来像を語っているところなのかなと思いますので、そうだとすればそれを明確に打ち出していくと。

それに対する方針3のところについては、「施策の推進」という極めて抽象的な表現なので、どういう視点で施策を進めるのかというビジョンのほうをキーワードに出していくと、もう少し方針としては整理ができるのかなと、そのように印象を持っていますので、ご検討いただければと思います。

併せて、方針2のところに出ている、これは先程議論になった地域循環共生圏の福岡式というところなんですかけれども、これは方針の方向性は今ここで決めるけれども、具体的な福岡式の地域循環共生圏の内容については、また次回以降検討できるということでよろしいのでしょうか。それであれば、大枠としてはここで決めておいてというので構わないかなと思います。

あと最後1点なんですかけれども、テーマのところで「未来へつなぐ」というところ、かなりこここのところに多様な要請が入ってるんじゃないかという印象を持っています。SDGsと書いてしまうと、もうそれだけでキーワードが終わってしまうんですけれども、持続可能な発展というところ、だから次世代に対して持続可能な社会を引き継いでいくというところには、当然、安全安心の社会というような部分とか、あとは次世代が活躍できる活力があるような社会というところは含まれてくる概念ではあると思うので、テーマに直接盛り込めなかつたとしても、こういうところで説明をきちんとキーワードを出しておくというのが、具体化する時に役に立つのではないかなと思います。

#### 【部会長】

いろいろコメントありがとうございます。この2つ目に関して、ほかにございましたらお願いいいたします。

#### 【委員】

それを整理されて、やっぱり地域性を維持して土地と資源を有効活用するとか、もうちょっと具体的にモビリティのこととか、多分書きにくいとは思うんですけど、今ある森林とか農地を保護するみたいなこととか、土地利用と交通機関をちゃんと統合させて考えていくとか、道路に関しても車の利便性だけじゃなくて人のことも考えて設計していくとか、分からぬけどそれ全部は無理だとは思いますが、何かそういうのが明確だと、もっと下がきれいに分かれるのかなと思います。

#### 【部会長】

ありがとうございます。総合計画的な話になるので、どこまでここに盛り込めるかということですね。

それでは、議事3の「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画の施策体系について」に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

### 議事（3）「第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画」施策体系について

#### 【事務局】

（資料3について説明）

#### 【部会長】

今の議事3について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

#### 【委員】

前もちょっとお願いしたんですけど、まずこの計画を見ていただく方をどの辺に置いているのか。簡単な言い方すると、言葉が難しいんです。横文字が非常に出てくるんです。皆さんここに来てる方たちはいいかもしれないけど、我々が相手にしてる人たち、一緒に参画していただくのはそういう人たちばかりじゃないんで、もう少し接頭語か何か入れないと。

例えば、スタートアップ都市と言われても、知ってる方はよく読み込めば分かるけど、それからアジアの交流都市と言っても、関心がある人たちはいいけど、国際的に行ったこともないような人たちからすると、何のこと言ってんだろうという話だと。コンパクトシティーというのも、市の関係の方に聞いてもきれいに答える方はあまりいないんです、市の職員ですら。そういうのはやはり何か入れてもう少し分かりやすく。

これを今回5年とか10年やってるうちに、3Rと同じように市民に定着してくるんじゃないかなと。例えばSDGsにしても、つい2~3年前まで、市民の方たちもだけど、市の職員に聞いてもそれは何のことですかと言う人がほとんどだったというわけです。そういうのを考えると、言葉を使うのはいいんだけども、やはりコラムなんかも少し分かりやすい表現にしていただいたほうがいいのではないかというのが個人的な意見です。

それとちょっと前に戻るようなところがあるんですけど、生活感みたいなところがあまりないんです、格好良すぎて、非常に上滑りで。今のご時世の中で、これとマッチングするかというところを考えないと、ちょっと上滑りの計画になりそうな気がしております。ぜひその辺りは皆さんで議論してほしいなと。

やっぱりまだ生活感とか泥臭さが、博多の場合はあったほうがいいと思うんです。いわゆる屋台のラーメンのにおいがするようなのが博多ですから。その地域特性を「都市特性を踏まえた」と書いてますけど、これも何か格好良すぎて、博多弁での雰囲気とはちょっと違うなというのが個人的な意見ですので、ぜひその辺りも議論してほしいなと思います。

言ってることはいいんだけど、もっと言葉をコラムか何か入れて説明してやらないと、我々以上のアノログ世代からすると、こういう言葉はついていけないんじゃないかなというのが印象です。よろしくお願ひいたします。

**【部会長】**

ご意見、ありがとうございます。事務局いかがですか、答えられる範囲で。

**【事務局】**

言葉に関しては少し、どういう表現にするか、どういう見せ方にするかも含めてご提示で  
きればいいかなとは思っております。

あとは生活感がない、ちょっと上滑り的なというところは、少し概要的なところを今回お  
示ししてるので、そこを含めてもう少し現状に即したものがあってもいいかなというところか  
と思つてますので、そちらのほうは今後追加していきたいと考えております。

**【部会長】**

博多弁にするというのもあるけど、見てもらえるようなものを目指したいと思います。ほ  
かはいかがですか。

**【委員】**

1つは、書いてあるところの文章が結構長いかなと。だからもう少し端的に分かる言葉を  
ちょっと羅列、点で付けてもいいんですけども、いくつかのキーワード的な表現のほうが  
読みやすいかなと。全部読まないと何か分からぬという感じがします。

**【部会長】**

左上のところですか、リード部分みたいな。

**【委員】**

全体的にそうなんんですけど、特に施策の方向性の四角の中は、文章が長いですよね。なの  
でキーワードで、何を推進するのかというキーワード、こういうことの目標のためにこれと  
これこういうのをしますという書き方のほうが、読み手としても分かりやすいかなと。

それともう1つは、この方向性に書かれてる言葉と中に書いてある言葉が、どうもリンク  
しない。キーワードで挙げられてる言葉がどこにも下にないので、よく分からないというか。  
例を言えば、「事業系古紙の回収促進」となってますが、それにして中は「分別をしましょ  
う」となってます。そういう齟齬がちょっと生じている。主体が市民にお願いする行動を推  
進するような書き方なのか、市が回収という市の視点での書き方と、非常にばらばらという  
か、そこら辺の統一性を考えたほうがいいのかなと思います。全体的にそんなイメージがあ  
ります。

**【委員】**

今の意見と一緒に一緒なんですか、私も市がやろうとしてることなのか、先程から方針1

と方針 3 ということも言ってましたけれども、市民がやるために行政が応援していきますよと、システムを作りますよということなのか、そういうところがちょっと言葉が統一されてない感じがするんです。

方針 1 と方針 3 が整理されてないんで、私も具体的にあとからこれを見た時に、何回も行ったり来たりして、方針 1 と方針 3 を見てたんですけども、どうも整理がされてないんで、そのところもちょっと明確にしてもらいたいなと思います。じゃないと読んだ市民が、じゃあ自分たちは何をすればいいのか、それを行政がどうバックアップしてくれるのかというところがきちんと整理できてないと、なかなか進まないと思います。

それからもう 1 つは、方針 2 の「イノベーションとコミュニティによる地域循環共生圏の創造」というところの「ICT・AI を活用した社会課題の解決」のところですけれども、ここは既存というものは残されながら新規を加えていかれるのかどうか。もし既存を残して、それから新規を加えるのであれば、またペーパレス化というのが出てくるんで、上は行政サービスのオンライン化によるペーパレス化ではありますけれども、ペーパレス化を 2 度書くよりも、例えばシェアリングエコノミーとか、もっと何か分かるように具体的に。社会課題の解決ってすごくテーマが大きいので、もう少し具体的に分かるようなことを書いていただいたほうが、特に ICT とか AI というものはまだまだ皆さんピンとこられないと思うんで、何か具体的なものがここに少し書かれるといいかなと思います。

### 【事務局】

ICT, AI のところは確かにおっしゃられるとおりだと感じましたので、ちょっと修正をさせていただきたいと思います。

また、市民、事業者のどちらが主体なのかというところについても、今回、表現が確かに分かりづらいところが多々見られますので、そこは整理させていただきたいと思います。

### 【委員】

文章をコンパクトにする、例えば「マイバッグを使おう」とかそれぐらいの話でもいいと思うんですけども、例えば食品ロスというのも京都市の計画の中には、そういう言葉と一緒に「手付かず食品」だとか、「食べ残しを減らそう」とか、そういう生活する側に立った表現もあるわけです。そのほうが何となくいいのかなと。食品ロスというのが専門家はある程度分かるけれども、なかなか分かりづらいというのもありますので。

それと先程の議論ですけど、行政がやるのか市民がやるのか、あるいは共働で一緒にやるのかとか、そういうのであれば何か分かるように、マークを入れるとか、あるいは括弧して「市民対応」あるいは「行政対応」とか、何か前の時に何かそういう分担をやったことあるんです。市が積極的にやる場合と市民にお願いしないといけない、それから両方でしないといけないとか、あるいはもっと下げて言えば、子どもたちを中心にだとか、あるいは老人会を中心にだとか、何かそういうふうな整理をしたことがあるんで、マークか何かで分かるよ

うにしたほうがいいし、一覧表か何か作ったほうがいいかなという気はします、読んでもらうという面では。

### 【部会長】

基本計画の文面で全部盛り込むのは難しいんで、普及版みたいなやつで読んでいただけ るような感じにするということですね。

それから、方針3で事業者へのESGの普及とあるんですけど、ESGってこういう感じで使 うのかなとちょっと思ったんですけど。お金をこういうのに重点的に使っていきましょう というのがESGだったと思うんですけど、ここはどうなんですか。

### 【委員】

今ご指摘があったESGのところ、ここを含めて「事業者に対する環境意識のさらなる向上」というカテゴリーで全部まとめられてるんですけども、ここはもう少し事務局のほう でも研究していただいて、きちんと言葉を含めた使い分けとメッセージの発信を考えてい ただきたいと思います。

そもそもESGもそうですけれども、CSRの考え方、これは環境意識の向上じゃなくて社会 的な責任なんです。投資活動も、お金を投資する時にどのようなところに投資することが社会として許されるかというところですよね。お金を投資する側の責任、社会を変えることになりますので、こういうところを意識の問題ではなくて、社会的な責任を事業者は負ってるんだということをメッセージとしてきちんと出して、どういうことがこれまでに世界、グローバルスタンダードと言われているかというところをきちんと紹介してもらうのが、恐らくこの整理としては大事だろうと思いますので、ここはちょっと研究をお願いしたいと思 います。

また、同じ3ページのところで、「単身者や高齢者世帯など多様なライフスタイルに合わせた資源循環の推進」というようなことを言われて、教育啓発が重視されてるんですけども、もうちょっと身近な情報発信、これを充実させていくというのは今どこでもトレンド ですので、SNSを活用するとか、必要な時に必要な情報が得られるような仕組みに、福岡市 は得意だと思いますので、情報発信のあり方をどこかに加えていただきたいと思います。

あと、2ページのほうで、先程委員からご指摘があったと思いますけれども、「資源循環と経済活動の両立」というところで、シェアリングエコノミーとかサーキュラーエコノミー というキーワードが出てきていますので、これは両立ではもはやありません。資源循環を経済との仕組みとして社会に定着させていくという考え方が、サーキュラーエコノミーの仕組みになります。コラムのところでも両立ということで日本の取り組みをご紹介していま すけれども、書いてあるようにヨーロッパのほうが圧倒的に進んでいるので、もし紹介をコ ラムなどで説明するのであれば、世界的な動向を踏まえた上で、もうちょっと両立より強い 表現に変えて進めていただくことが必要だろうと思います。

あともう 1 点、最後、4 ページのところで、方針 4 で「適正処理の推進と環境再生」となっているのですが、それの一番最初の施策の方向性のところに 3R というのが出てるんです。これはちょっとタイトルと中身の矛盾になりますので、ここは 3R ではなくて、適正処理を確保するための仕組みということになろうかと思いますので、ここもちょっと整理をして書き分けるほうがよろしいかなと思います。

【部会長】

ありがとうございます。ほかの委員、いかがですか。

【委員】

ちょっと細かいんですけど、方針 2 のところですけど、食品廃棄物の項目です。その食品リサイクルの推進だけではなくて、やはりサーキュラーエコノミーなので、「食品リサイクルループの推進」に変えたほうがいいんじゃないかなと思います。

具体的には、リサイクルだけをするんではなくて、堆肥の活用推進とか、販売で現金化するというのがサーキュラーエコノミーの考え方の 1 つでもあるので、それを追加したらどうかと思いました。

【委員】

4 ページの「適正処理の推進と環境再生」のところですけれども、この中に「分別の徹底による適正処理」というところがあります。先程委員が言われたように、分類ごとに施策を書いた方がいいんじゃないかなと思うんです。そうしないと、例えば新規のところの「併せ産廃処理」のあり方について、これはプラスチックについて言っているんですよね。そうすると普通の一般市民が産廃を受け入れることについて協議するのかという、非常に危機感というか、そんなことを与えるんじゃないかなと思いました。

例えば、有害廃棄物の適正処理に向けては何をするのかとか、プラスチックの施策に対しては何をするのかとか、そういう形できちんとやったほうがいいのではないかなど。唐突として併せ産廃の話が出てきていますので、そこは整理をしたほうがいいかなと思います。

【事務局】

併せ産廃の表記については、大変紛らわしい表記をしてしまって申し訳ないと思っています。

プラスチックだけではなくて、市が一般廃棄物処理と併せて処理している産業廃棄物についての話になりますので、ここはちょっと表現を変えさせていただきたいと思います。

先程皆さまから頂いている修正については、適宜対応をしていきたいと考えています。貴重な意見、ありがとうございます。

**【部会長】**

ありがとうございます。

この枝分かれの中の並びというのは、規則性みたいなものは何か考えていらっしゃるんですか。事務局、いかがですか。並びって決めてあるんですか。

**【事務局】**

基本的には、取り組むべき順番のとおりに並べているとは思うんです。あとは類型、同じような。

**【部会長】**

優先順位みたいな感じなんですか。

**【事務局】**

そのような表現ではあります。優先順位というわけではないんですけども、分類分けとどうか、同じような項目について左上から順番に並べているようなイメージになります。

**【部会長】**

新規というのは、既存と新規がある場合に、既存から並べたほうが分かりやすいのかなとちょっと思つたりするんですけども、その辺はまた考えていただいて。

**【事務局】**

分かりました。

**【委員】**

1ページの左側の一番下の「製造段階からの環境配慮型商品の普及」と書いてあるんですけども、普通これは多分DfE (Design for Environment) のことを言っているんだと思うんですけど、設計段階から本当は考えなくてはいけない話だと思うんで、その記述を少し工夫していただきたいなと思いました。

もう1つは、その上の古紙回収のところに7万トンと具体的な数字が入っているんですが、この数字はちょっと外したほうがいいんじゃないかと思うんです。というのが、今のコロナの話で、恐らく古紙の排出量とかどういうふうになるか分からないです。多分相当大幅に変わるんじゃないかと思いますので、この辺も少し数字は消しといていいんじゃないかなというふうに思いました。

**【部会長】**

ありがとうございます。ほか、議題3に関してはいかがでしょうか。

### 【委員】

先程から議論があつて、市民と事業者と行政の役割が出てくるところもあるかも知れませんが、それを分かれるようなまとめ方も1つあるかなと、符号かなんかで。そうするとその先、既存と新規の中でどちらがプライオリティが高いのかと言つた時も、おのずと早くしないといけないとか、緊急度が高いとかというのも整理をしやすいかなという感じがします。市としては全部一緒にやってもらいたいという気持ちかもしれませんけど、市民相手ですから、その辺りもどこか、スペースがありますので例えばどこかの枠内にそれが表示できたらいいなと思います、ビジュアルに。

### 【会長】

ありがとうございます。それでは、議事4「事業者ヒアリングについて」事務局からご説明をお願いいたします。

#### 議事(4) 事業者ヒアリングについて

### 【事務局】

(資料4について説明)

### 【部会長】

それでは最後のヒアリング内容案について、コメント、ご質問等をよろしくお願いいたします。

### 【委員】

資料4のテーマに書かれているプラスチックごみのところなんですかけれども、レジ袋と書いてあるんですが、レジ袋は6月からとか7月からとか企業によって違いますけれども、大体有料になっているし、今さらレジ袋かなという感じがするので、ここは容器包装かなというふうな感じがしているんです。要するにパッケージに入っているというか、プラスチックの容器に入っているのが本当にごみとして多いので、どちらかというとそっちのほうかなというふうに思います。

### 【委員】

アンケートの中にいろいろ書かれているところと、ご自由にというところがあると思うんですけど、これはヒアリングをされるんですよね。相手が書くわけじゃないですけれども、それにしてもある程度自由にといわれても書きようがないから、少し分かることの選択肢は入れていただいたほうがいいかなと思います。

特に小売業のところのプラスチックごみに関して、ほとんど選択肢がなくて自由記載な

ので。ある程度、選択肢を挙げていただきて、その他というほうがいいかなと思います。市が考えるこういう情報がほしいなというところでいいと思うんで、そこは入れていただきたいほうが。もう 1 点、回答の選択肢に書かれている中に、質問の内容が文言として書かれて、例えば「どんな工夫されていますか」といったら「こういう工夫をしている」というふうに書いてあるので、そういうのも外してキーワードだけにしたほうが、あとで整理する時にしやすいので、キーワードにしたほうがいいかなと思います。そこも統一してもらったらいいかなと思います。

【部会長】

ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

【委員】

宿泊業のところのごみ箱を分けて設置しているというところなんですけれども、ここって室内なのか、例えば廊下のところなのか、その辺の違いがあるんじゃないかなと思ったので、そこもできれば聞いていただいたほうがいいかなと思いました。そこだけ追加です。

【部会長】

ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

【委員】

小売業に関するアンケートなんですが、小売業の中にはペットボトルの回収拠点みたいなものをつくって、そこで自分で集めてメーカーに渡しているスーパーとかがあると思うんです。そういうルートに対する質問が入っているものだと思っていたんですが、それが入っていないみたいなので、そこはどう考えておられるでしょうか。

実は福岡市のリサイクル率の目標設定をしない、それは民間ルートの把握が難しいからと書いてあったんですけど、こういうアンケートでそういうのが本当に難しいのかどうか、そこを確認する意味でもアンケートの中に入れてはどうかと思うんですけど。

【部会長】

今の点はいかがでしょうか、事務局。

【事務局】

民間協力店でやっている市の回収ボックスを置かせていただいている場所については、基本的には把握しております。

また、民間事業者さんが自主回収という形で、ペットボトルであるとか白色トレーなど回収をしていただいているんですけれども、こちらのほうはできる限り別のアンケート、例年

やっているアンケート調査の中で把握するようにしておりますが、自主回収事業なので、全ての事業者さんにアンケートを回収しているものではないので一部が把握できないというのは事実としてあるかと思います。

今回ヒアリングの中でアンケートを取らせていただく事業者さんが、自主回収事業として分かっているところが割と多いところになりますので、そういった記載が抜けているということになっています。

アンケートとしては聞くことは可能なので、そのデータを入れた上で、オブザーバー招致とかに臨んでいただくという形も必要かと思うので、質問の中には追加で入れたいと思います。

#### 【部会長】

お答えありがとうございます。

#### 【委員】

今容器包装プラスチックが増えているというのは福岡市としても課題だと思うので、せっかくアンケートを取るんだったら、そういう事実をちょっと書いて製造業とか小売業に関してアイデアみたいなのがないかとか、少し聞いて課題だと思われていることと、現場ならではのアイデアも聞きたいなと思います。招聘する方だけではなくて、アンケートというのはそういう意味では広く集められるかなと思いました。

#### 【部会長】

この内容と直接関係はないんですけど、小型家電の回収に関して、つい先日というか、遠隔授業で学生にも小型家電の取り組みという話をしたんですけど、課題をいつも出してもらいますけど「そんなの初めて聞いた」という人がほとんどです。ボックスは一応うちの生協の食堂にもあるんですけど、そんなのあるのは4年たって初めて聞いたみたいな感じなんです。それはともかく、結構知られてないことが多いですね。学生だからというんじやなくて、多分ほかの人も知らないんだろうなという感じがします。ちょっと余談ですけど。

ほかはいかがですか。そしたら先程いろいろコメントをされたことを踏まえて、そのアンケートをやっていただくということでよろしいですか。

#### 【事務局】

いただいた意見について反映したものをまたお送りしますので、追加で何かこういうことを聞いてもらいたいというのがある場合は、6月中に回答をいただければと思います。よろしくお願ひします。

**【委員】**

スケジュールでいうと、今回の2つ目の項目がテーマと基本方針が確定というふうになつたんですけど、何となく今日の感じだったらちょっと持ち越しになるのかなと思って、スケジュールのほうは次回も引き続き確定に向けて話し合うということで大丈夫でしょうか。

**【事務局】**

はい。それで大丈夫です。

**【部会長】**

第5回で決めるということですね。

**【事務局】**

そのようにしたいと思います。なお、第5回の作業部会については、またこちらのほうから改めて日程調整のご連絡をさせていただきたいと思います。

**【部会長】**

それでは、ご意見等があれば隨時ということで、本日の議事は以上となります。進行を事務局にお返しいたします。

**【事務局】**

小出部会長、委員の皆さまありがとうございました。まだまだ慣れないオンライン会議で、非常に不手際が多いところで申し訳ありませんでした。

以上で第4回第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画策定作業部会を終わります。本日は長い時間ありがとうございました。